

現場改善を通し、製造原価削減を図る

シバタ製針株式会社（奈良県）

独自設備、工法の確立による、高精度・高品質のメリヤス用工業編み針の販売展開

1. 相談のきっかけ

- 実施機関である奈良県地域産業振興センターの重点支援先事業所である。
- 6月の会社訪問時に工場管理面において体質改善の相談を受ける。
- 9月よりよろず支援拠点を通じた専門家派遣を行い、事業としての本質から踏み込んだ改善を提案する方向性を合議し、本格的推進を開始した。

2. 課題整理・分析

- 推進方法を討議し、社長ヒヤリング及び現場管理の実態から推進イメージを整理した。
- 下記の主要管理指標について分析を行った。
 - ① 損益計算書、製造原価報告書から事業の本質課題分析と整理
 - ② 過去4年間の生産実績よりものづくり面の課題分析と整理
- 最重点課題として下記項目を明確化し、共有化を図った。
 - ① 本業純利益の最適化
 - ② 生産ロスの極小化（在庫・稼働の最適化）

3. 解決策の提案

- 主要なもの全ての数値化を最重視して、基本を遵守したものづくりの再構築、事業の本質課題整理、本質課題の共有化の推進に当たった。
- 解決に向けた具体的提案、進むべき方向性として、最適生産方式導入によるロスコスト削減に決定した。
- ものづくり面の調査を行い、有効な改善提案。製造原価の視点から生産ロスコストの影響度を数値化した。



4. 成果

- ① 相談者から見た新たな気付き
 - 問題点、改善方法はある程度分かっていたが、さらに事業及びものづくりの管理指標をより科学的に分析、また現場、現物を重視することによって、見えていなかったことが明確に見え、改善の方向性、優先順位、計画の重要度等について確認することができた。
例）・事業体質の見える化 ・生産ロスの見える化
- ② 仕組み面における成果
 - 最少在庫重視の生産方式の構築⇒受注を受けてから仕掛け開始し、完成日を明確化
 - 生産能力重視の生産方式の構築⇒53工程設備別能力に対応させた最適ロット生産化
 - 最終的には広い意味で工場管理に関する新しい仕組みを築くことができる
- ③ 経営の数値指標における成果
 - 稼働の最適化により、製造費用の削減で収益良化を図れる。
※既に、残業削減が成果として出てきた。
 - 在庫削減による資金面、管理ロス等の改善が見込まれる。

